



使
切
ま
て

ゴ
ム
100
箱

カ
幼
馬
丸
染

茅乃井いの

Kayanoino

と
エ
1
お
あ
ず



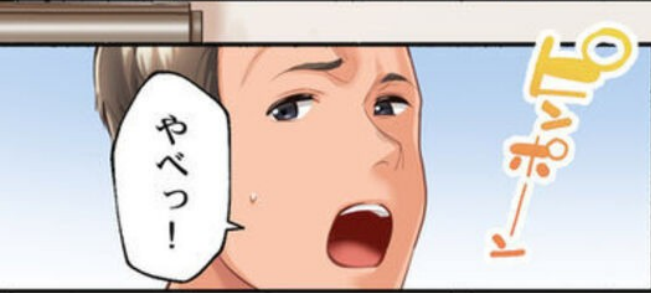
ゴム100箱、使い切るまで
幼馴染とエッチします！

第 1 話



あーミスった
最悪だよ

どうすんだよ
…コレ



やべっ！

おっ！



発注数間違えた
からって…

買い取らせなくても
いいじゃねえか…

何だ？この
発注書は…？

田崎

ハハハ…



たっくん
ゲームしよー

凛っ…なんで
こんなときに…

おっ！

マギ
マギ



ダンボール全部で
コンドーム100箱か

使う予定なんか
ないのにさ…

がせ

001
めちゃうす
001



そもそも年頃の
女子が男の家に
入り浸んじゃねえ!

暇じゃねえよ!
俺だってバイトとか
就職とか!



なっ...
なんでもない!

どうしたの?
取り込み中?



あははっ
なにそれ!

幼馴染だし
別にいいじゃん!



っーか今日も
来たんか...

えっ?
いいじゃん
家じゃゆつくり
ゲームできないし
どうせ暇でしょ?



逆に毎日遊んでて
なんでこんなに
弱いんだよ!

なんでこんなに
強いのか!?
ちゃんと大学
行ってる!?



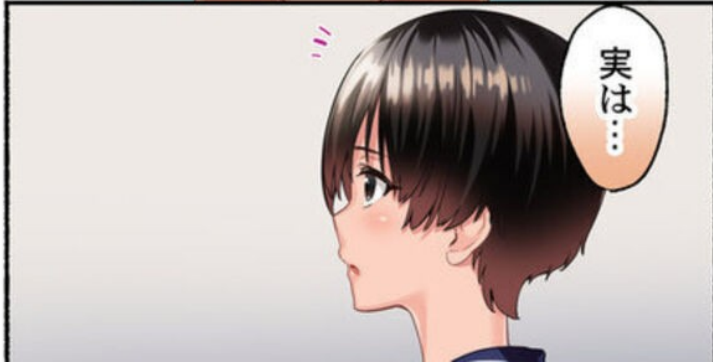
うぎゃー...
また負けた!!

よっ...

K.O











そんなに
経験豊富ならさ…

コンドームの着け方
教えてくれない？

えっ!
!?



冗談よせよ
いくら凍でも
それは…



なっ…
なに言ってるんだ!



いつか私にも
彼氏ができる
かもだし

それからじゃ
遅いから!



冗談じゃないよ!
ね…お願い!



ひょ

それって
つまり…



凜に彼氏…?



凜が誰かと…
セックス…?

俺以外の
誰かと…?

たやん

ぎし



ザワ



それにもし
ゴムの着け方を
知らないまま

無責任に
エッチなんか
したら…

なんか
すげえ嫌かも…



その歳で処女?

ナナナ...!!
なに聞いてんの!
ヘンタイ!



凜...
もしかして
オマエ—



もういいよ!
そんなこと
言うなら...



やっぱりなく
だと思ったわ

ムキ!!



冗談だって
ちゃんと
教えてやるよ



ほ...ホント?

そのかわり...

だっ...だから
恥を忍んで
聞いてるんじゃない!



このゴム100箱
使い切るまでな！



冗談だよ！
ジョーダン！



なにそれ…！

本気で
言ってるの？



ヤベ…流石に
無理筋だったか

いや…
その…







でもこれじゃ...
本当に...

これくらいで
動じちゃダメだ

はあ
はあ
はあ



ちよつと!
どこ触ってるの!

本番は
エッチしながら
着けるんだから



Hしてる
みたいだよ...?

は...はあ?
今更なに
言ってるんだよ

着け方だけ
教えてくれたら
いいのに...



ほらローション
ついてるタイプだから
痛くないだろ?

んん

くらっ
くらっ
くらっ



こういうことは
言葉で説明するより

実践のほうが
身につくんだよ

IPキム



い…たくないけど…
こんなこと…っ

今さら恥ずかしがるなよ
俺だって我慢して
教えてるんだぞ？

それはそうかも
だけど…

おんおん

おんおん



まだ1箱分も使って
ないんだからな？



凜がアソコ
触られて感じる顔…
たまらないな…

んあ♡
やあつ…
ダメえ…

おん
おん
おん



んあつ…
そこ摘まれたら…



ほら…
手が止まってるぞ？

だって…
そんなところ
触られたら…

気持ちよく
なっちゃう…か？



変な気分？

うっ…
うん…



だめ…
それ以上は…

いいぜ
そのまま
イッても



くるっ
きちやう…っ！



イッちゃえよ
ホラ！



んもああ

びん

がら

はあ



あーあ
全然上手に
着けてないじゃん

それは...
拓馬が変なこと
するから...



グ



イッたのか...!?
俺の手で...

どろあ



えっ!?

ドキ

むわ



まだまだ
練習が必要
みたいだな

はあ

びん



コレが
ゴムの正しい
使い方だ…!



や…っ
そんなこと…っ

大丈夫…
このままHの練習も
最後まで付き合っ
てやるよ…

たっ…くん…
だめ…ぬいて…

あっ!



それは…
そうかも…
だけどっ



コンドームで…
入れられた感触を
覚えておかないと
生で入れられ
ちゃっても
わからないだろ？



んああつ！

凜が体で覚えるまで
俺がみっちり
教えてやるっ！

そこ突くの
だめえっ！
んあ



わっ
わかん…ないっ
けど…っ
んんん

か
体が反応
しちゃうのっ



奥も
気持ちいいのか？



俺のでこんなに
感じてるなんて...

あー

んんん

パキョ
パキョ
パキョ
パキョ
パキョ
パキョ



もー!!
Foooo!!!

強キャラばかり
使うのナシね!

あの勝ち気な
凜が...



ひゃあっ♡



たつく...ッ
激しっ♡
んんっ...!!

じゅる
じゅる
じゅる
じゅる
じゅる

パキョ
パキョ
パキョ
パキョ
パキョ



ガミヤ

ひゃあっ♡

スゲー
興奮するっ!!

ずちゅん



なっちゃおうぜ
一緒に……!

おかしく
なっちゃうよ
拓馬あ!



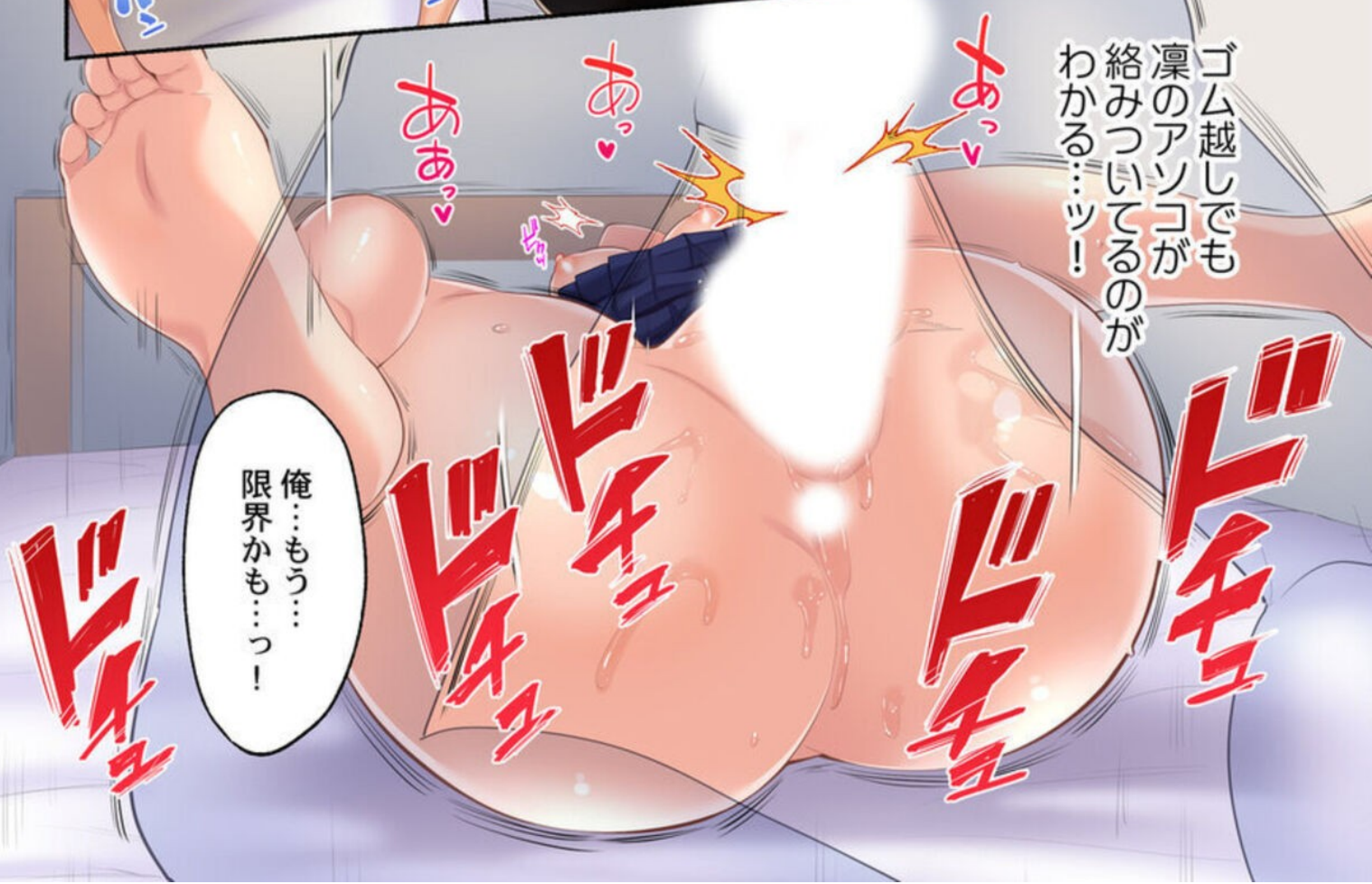
ああ……っ
またっ……
キっちゃう……!



わたし……ッ
初めてなのに
こんな……



そんな……ッ
ダメ……



ゴム越しでも
凩のアソコが
絡みついているのが
わかる……ッ!

俺……もう……
限界かも……っ!



ゴム100箱、使い切るまで
幼馴染とエッチします!(1)

著者 茅乃井いの
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。